

研究速報

食道癌患者における血中扁平上皮癌関連抗原 (SCC 抗原) 濃度に関する研究

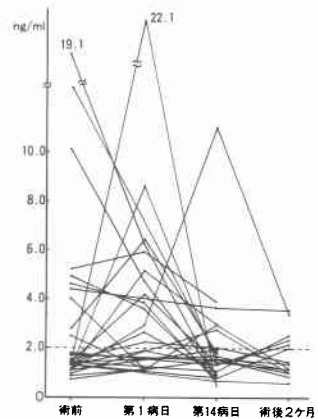
池田健一郎 寺島 雅典 石田 薫 大津 友見
 岡本 和美 齊藤 和好 森 昌造*

はじめに：近年、腫瘍マーカーを用いた癌の診断や治療効果の判定が行われるようになってきたが、食道癌での有効な腫瘍マーカーは、まだ確立されていない。そこで、食道扁平上皮癌に対する腫瘍マーカーとして子宮頸癌より抽出された TA-4¹⁾の亜分画である扁平上皮癌関連抗原 (SCC 抗原) の有用性について検討した。さらに、他の腫瘍マーカーとして immuno-suppressive acidic protein (IAP), carcinoembryonic antigen (CEA) とも比較検討した。

対象と方法：対象は、昭和61年1月から昭和62年2月までに当科に入院した食道扁平上皮癌患者54例 (stage 0 2例, stage I 2例, stage II 4例, stage III 6例, stage IV 17例, 非切除18例, 再発5例), 食道良性疾患患者7例, 胃癌患者10例と健常者15例であった。これらの症例で SCC 抗原を測定し、食道癌患者は各治療前後で SCC 抗原, IAP, CEA, を測定した。なお, SCC 抗原はダイナボット社製 SCC・RIABEAD を用いて測定し, 2.0ng/ml 以上を陽性とした。

結果：SCC 抗原は健常者, 胃癌患者では全例陰性であり食道良性疾患患者は1例のみが陽性であった。これに対し, 食道癌患者は $3.80 \pm 3.99 \text{ ng/ml}$ で 28/54 (52%) と高い陽性率を示し, 進行度別では stage 0, $1.55 \pm 0.78 \text{ ng/ml}$ (1/4), stage II $1.50 \pm 0.64 \text{ ng/ml}$ (1/4), stage III $4.72 \pm 6.58 \text{ ng/ml}$ (2/6), stage IV $3.55 \pm 3.47 \text{ ng/ml}$ (8/17) と進行度とともに陽性率が増加し, 非切除 $3.50 \pm 3.90 \text{ ng/ml}$ (10/18), 再発 $5.48 \pm 1.09 \text{ ng/ml}$ (5/5) と高い陽性率を示し, stage 0, I および stage II と再発例の間には統計学的有意差を認めた ($p < 0.01$)。IAP は多数の症例で正常値を超える高値を示したが, 進行度との関連は認められなかった。

図 手術前後の SCC 抗原の推移



また, CEA は再発・非切除例で高値を示すものがあるものの, 大部分の症例で正常範囲内の値を示した。切除例の手術前後の各マーカーの推移をみると, SCC 抗原は術後第1病日に高値を示すものの, その後は減少した (図)。IAP は全経過を通じ正常範囲を超える高値で推移し, CEA はほぼ全例正常範囲内で推移した。非切除・再発例の放射線治療・化学療法などの治療前後の各マーカーの推移をみると, SCC 抗原は治療効果に一致して変動する傾向を示したが, IAP, CEA ではこのような傾向は認められなかった。

結語：SCC 抗原は IAP や CEA と比較し癌の進行度や治療効果を最も良く反映し, 食道癌の腫瘍マーカーとして有用であると考えられた。

索引用語：食道癌の SCC 抗原

文献：1) Kato H, Torigoe T: Radioimmunoassay for tumor antigen of human cervical squamous cell carcinoma. cancer 40: 1621-1628, 1977

CLINICAL EVALUATION OF SERUM LEVEL OF SQUAMOUS CELL CARCINOMA ANTIGEN IN PATIENTS WITH ESOPHAGEAL CANCER.

Kenichirou IKEDA, Masanori TERASHIMA, Kaoru ISHIDA, Tomomi OHTSU, Kazumi OKAMOTO, Kazuyoshi SAITOH and Shozo MORI*

First Department of Surgery, Iwate Medical University School of Medicine. *Second Department of Surgery, Tohoku University School of Medicine

<1987年10月1日受理> 別刷請求先：池田健一郎 〒020 盛岡市内丸19-1 岩手医科大学第1外科